

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【あいさつ運動 などのボラン ティア活動】	あいさつ運動、落ち葉掃き運動などボランティアの児童を募り、年3回実施した。委員会ごとに呼びかけや高学年から始め、中学年、低学年でボランティア活動を行った。高学年があいさつ運動をしている姿を見て、憧れて中学年や低学年の児童がボランティアに参加したり、教員からの促しで参加したり、多くの児童が活動に参加した。
	成果 あいさつ運動や異学年交流等を通して、上級生が下級生に心配りをし、下級生は上級生に親しみを感じている様子を見ることができた。普段の生活でも、廊下で声をかけ合い、休み時間に遊んだりする場面も見られた。
	課題 子供たちの人権感覚を高めていくには、教職員の人権意識の高揚も不可欠である。校内研修などをさらに充実させて、継続的に人権感覚を養っていききたい。
2 実践2 【いいところ発見 コーナーなどの 掲示】	【いいところ発見コーナー】 ・友達のいいところを発見したり、友達の行為に対して感謝することがあつたりするたびに、掲示をして児童のよさを積み重ねてきた。 【道徳コーナー】 ・各教室の道徳コーナーに、黒板の板書を写した物を掲示した。人権コーナーに人権俳句、ありがとうのメッセージなどを掲示したりした。
	成果 ・友達のよさについて発見したり、自分のよさに気付いたりするよい機会になった。 ・教室や廊下に道徳コーナーや人権コーナーを掲示したことで、興味をもって内容を見たり話したりすることで人権や道徳について自然と触れることができた。
	課題 ・人権メッセージなどについては、友達や家族との関わりで感じる気持ちや、命の大切さ、自分らしさ等について学級の友達だけでなく、同学年、他学年の友達の作品から学び合えるような場の工夫をしていきたい。